派遣事業≪運用要領≫

様式第８号（第１２条関係） ＜熊本市戸建木造住宅耐震診断士派遣事業＞

　耐震診断結果報告書

耐震診断士の氏名：　　　　　　　耐震診断士の登録番号：

建築士事務所・会社等：

**現地調査等に基づき耐震診断を実施しましたので、関係資料を添えて報告します。**

＜添付＞ 　□ 関係写真や図面等　　□ 耐震診断書（耐震診断ソフト：　　　　　　　　　　　　　）

**【申込者による確認・署名等】耐震診断の結果について、耐震診断士から確かに報告を受けました。**

　　　　　確認：西暦　　年　　月　　日、署名：

◆受付番号：20　年度・　　　番　　　　　◆現地調査日：西暦　　　年　　月　　日

◆事業対象住宅の所在地：熊本市　　区

◆増築の履歴：　□ あり→西暦　　　　年　　月頃　　□ なし　　□ その他→別添参照

※図面： □ あり　　□ なし　　…図面の有無の判断区分：【　１　～　５　】→

◆屋根：主たる部材 →　　　　　　　　　　　◆外壁：主たる部材 →

※分類： □ 軽い建物　□ 重い建物　□ 非常に重い建物　　※ベランダ等： □ 考慮する　　□ しない

◆小屋裏の空間やスペース（小屋裏収納・ロフト等）の存在等：　□ 該当なし　　□ 該当あり

　（ 該当ありの場合：建設省告示第1351号→ ）　□ 重量加算が必要　　□ 重量加算は不要

|  |
| --- |
| ＜上部構造評点＞ |
|  |  | 1.5以上 | 倒壊しない |
|  | 1.0以上　1.5未満 | 一応倒壊しない |
|  | 0.7以上　1.0未満 | 倒壊する可能性がある |
| ※各階やX・Y方向のうち最小の値 |  | 0.7未満 | 倒壊する可能性が高い |

◆上部構造評点に影響した主な要因　→写真や図面等、耐震診断書の該当ページ等と併せて申込者へ説明

□ 構面バランス　　□ 配置構成　　□ 有効な壁や筋交いの量　　　□ 劣化状況

□ その他　→

◆筋交いに関する判断方法：　□ 目視と図面　　□ 目視のみ　　□図面のみ　　□ その他→

◆接合部に関する判断方法：　□ 目視と図面　　□ 目視のみ　　□図面のみ　　□ その他→

※類推： □ なし　　□ あり →確認の方法、箇所や関係情報を現況平面図等へ明記のうえ申込者へ説明

◆基礎や地盤の諸元・状況など　→耐震診断書の　ページを参照